

# 籐・竹別注サイズ品施工方法

## 1 商品を現場に仮敷きして確認

安全性を考慮して、出入口に対して籐・竹ビラの流れが平行になる方向に敷いてください。  
(オーダー時に注意)



## 2 商品の固定

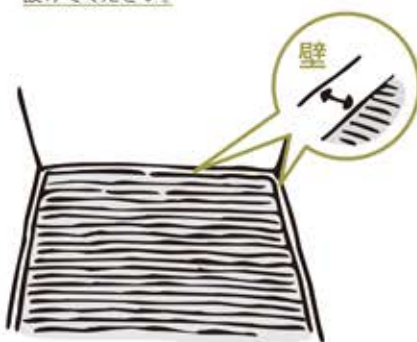
出入口や重歩行場所は裏面に両面テープ等で固定してズレを止めてください。



## 3 伸縮の隙間

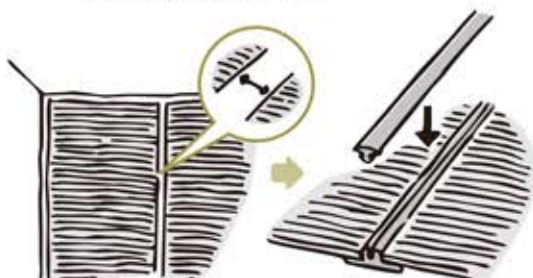
天然素材の本製品は使用場所の状況に応じて伸縮します。

仕上げサイズは受注(表示)サイズより小さく仕上げていますので、敷き込みの際周囲を均等に隙間を設けてください。



## 4 ジョイント面

2枚敷き以上敷き込む場所においてもE)同様に隙間を設けてください。ジョイント面にあたる場所で隙間に下地床面が見えて気になる場合、上下合体式木目調ジョイント押さえ、コーナー押さえの副資材をご使用ください。



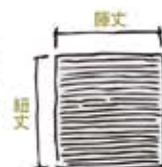
本商品は、温度の変化によって伸縮しますので下記の事柄に注意して施工を行ってください。

### 採寸

- ①採寸は正確にmm単位迄出して実寸でご連絡ください。
  - ②図面は正確に書いてください。端と端、それ以外にも必要と思われる部分は全て測って記入してください。
    - 計測の複雑な箇所は、部分型紙を取ってください。
    - 面積はm<sup>2</sup>単位で表します。
    - m<sup>2</sup>数の計算は商品の規格巾×長さになります。
- ※型紙は厚みのある丈夫な紙を使用し、表・裏籐ビラ方向の指示を必ず明記してください。



- ③籐むしろのサイズ表示方法は籐の目(ビラ方向)がありますので、サイズ表示に関しては籐丈×紐丈で表示します。



- ④籐むしろは敷き場所の使用目的と温度、湿度も考えてつくりますので、施工現場の状況もお知らせください。特に床暖房のある場所は事前にご連絡ください。
- ⑤乾いた後で湿気により0.3%位伸びる場合がありますので1mの長さに対して、約3mm程度小さめに作ります。湿度の高い場所だと伸びによって表面が盛り上がる場合があります。